

適用病害虫および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤およびフィプロニル・スピノサドを含む農薬の総使用回数	使用方法
稲 (箱育苗)	イネドロオイムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種前	本剤：1回 スピノサド：1回 フィプロニル：1回	育苗箱の床土に 均一に混和する
	イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ウンカ類 ニカメイチュウ イネツトムシ フタオビコヤガ イナゴ類		は種時(覆土前) ～移植当日		育苗箱の上から 均一に散布する
	イネヒメハモグリバエ		は種時(覆土前)		



使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植時期を過ぎた苗などには薬害を生じやすいので、注意してください。
- は種時覆土前散布の場合、低温で生育抑制を生じるおそれがあるので、温度管理に注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に、移植後に田面が露出しないよう注意してください。
- 使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。



安全使用上の注意

- フィプロニルによる中毒に対しては、動物実験でフェノバルビタール製剤の投与が有効であると報告されています。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

水産動植物…水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。

保管…直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。